

令和8年度葉山春登山募集要項

～雪が残る霊峰葉山を歩いてみよう～

主 催：寒河江市 主 管 団 体：寒河江山岳会
協 力：NPO法人スペース・アンド・タイム・クリエーション

1、開催目的

やまがた百名山に選定されている霊峰 葉山に登り、春の寒河江の魅力の発見・体感を
目指す。

2、開催日時

令和8年5月23日（土） **※天候不良の場合、5月24日（日）に順延**

7：00集合、15：50解散予定（バス利用の場合）

8：00集合、15：00解散予定（現地集合の場合）

3、予定順路

葉山市民荘 ⇒ 畑コース ⇒ お花畑 ⇒ 聖仏平（昼食）⇒ 畑コース ⇒ 葉山市民荘

4、集合場所

葉山市民荘または寒河江市役所（バス利用の場合）

（葉山市民荘：寒河江市大字白岩2383番地 電話：0237-87-5037

（寒河江市役所：寒河江市中央1丁目9-45 電話：0237-85-1692

希望者による先着順で寒河江市役所からバスで送迎を行う。（無料）（定員25名）

5、対象者

健康上支障なく、安全に葉山登山を実施できる方。また、実施主体側の指示に従える方。

6、定員

30名（先着順）

中学生以下の参加者については保護者同伴とする。

最小催行人数を10人とする。

7、講 師

山形大学名誉教授 野堀嘉裕 氏

道中の休憩時間等に森林に関する講話を実施

8、参加費用

1人 3,000円（当日、受付で集金）（おつりが出ないようご準備ください）

9、キャンセル料

申込み後のキャンセルについては以下のとおりご請求いたします。

～開催3日前までのご連絡：無料

～それ以降ご連絡：100%

後日、参加費用3,000円を寒河江市さくらんぼ観光課に直接持参もしくは、寒河江市さくらんぼ観光課宛てに現金書留で郵送

※順延により不参加となる場合でも参加費用を請求します。

10、申込手続き

寒河江市さくらんぼ観光課に電話で申込。(電話 0237-85-1692)

申込期間

令和8年4月20日(月)から5月13日(水)までの平日9時から17時

11、催行判断

- ・直近の天候状況等を確認し、5月22日(金)午前9時に判断を行う。
- ・天候により5月23日(土)の開催が困難であると主催者側が判断した場合は、5月24日(日)に実施とする。両日が難しいとなれば、中止になる場合がある。

12、キャンセル規定

天候等の理由により、途中で引き返すことやコースの変更があった場合でも返金対応はしない。

13、保険加入について

参加者全員が加入する。

14、当日の案内通知について

参加申込者に対して、開催1週間前までに当日の案内(持ち物等)を送付する。

15、その他

- ・体調が優れない方は無理せず参加を辞退してください。
- ・バスの利用は先着順とします。(定員25名)
- ・葉山のグレーディングは3Aです。(体力度; 3、技術的難易度: A) 技術度は低いものの、体力度は日帰り登山可能な山の中では最も体力を必要とする山です。
5kg程度のザックを背負って5時間程度歩くコースです。
(※グレーディングは山頂まで登った場合のものであり、今回の登山では山頂まで行きませんが、参考までに記載しています)
- ・今回は雪の上を歩きますが、通常の登山靴を想定しています。持っている方は軽アイゼンやストック等をお持ちください。
- ・今後の天候等により、コースの変更や雪が全くない状況となる場合も想定されますので、あらかじめご了承ください。

持ち物リスト

<必須>

持ち物	チェック	備考
リュック（25～30リットル程度推奨） （リュックカバー必須）		
昼食		
行動食（飴、チョコレート、ゼリー等）		
水筒またはペットボトル飲料（1.5リットル程度） ※温かい飲み物があるとなお良い		
防寒具（フリース等）		
雨具（上下セパレートのもの）		
ヘッドライトまたは懐中電灯		
地図（申込後、最終案内に案内同封いたします）		
軍手または手袋（手の保護と防寒のため、汚れても良いもの）		
帽子、サングラス		
日焼け止めクリーム		
長袖シャツ、長ズボン		
スパッツ、ゲイター（靴への雪の進入を防ぐ）		
登山靴（スニーカー不可、雪面や湿地に対応できるもの、防水推奨）		
筆記用具、メモ帳		
着替え、タオル		

<あると便利>

持ち物	チェック	備考
登山用ポール（2本セット）		
軽アイゼンかチェーンスパイク（下記ワンポイント参照）		
シートやクッションなど（雪上で休憩する際にお尻に敷く用）		
ロールペーパー（トイレットペーパー）とビニール袋		
虫除けグッズ（スプレー、ネット等）		

<服装についてのワンポイント>

- ・この時期の葉山は多少寒いことも想定されますが、歩行時は薄着で休憩時に防寒着を羽織る程度のイメージとなります。インナーは綿ではなく速乾性のものを着用してください。
- ・硬い残雪の上を歩行することも想定されますが、基本的には通常の登山靴で歩ける範囲内です。
- ・軽アイゼン等をお持ちの方で心配な場合はお持ちください。軽アイゼンや登山用のポールがある人はあらかじめ使用出来るように準備をしておいてください。